

【翻字】

蝙蝠末廣之扇面は

靈元院法皇の中將内侍春子年毎に拝領

して女中の階臈となす<sup>(處)</sup> 刃の末廣也中將内侍は

倉橋從二位安倍朝臣泰章卿之妹

法皇崩御之後薙髮して知覺院と号す<sup>(號)</sup> 予布丹

伯母なり右数本の末廣を予に譲る予か女世野敏子

に授く敏子数本を持して若林の家に嫁し後世に散乱せん

事を憂ひてこたひ<sup>(屏)</sup> 瓶風の面に押裏地源氏の古歌は

止々軒先寥の染筆也先寥といへるは八条中納言隆英卿の

男にして陰者也右扇面の有増を書付よと乞にまかせて茲に記而已

文化元甲子年春三月

正宇軒安倍布丹

【校訂本文】

蝙蝠末廣の扇面は

靈元院法皇の中將内侍春子、としごと年毎に拝領

して女中の階臈となす<sup>(處)</sup>末廣也。中將内侍は

倉橋從二位・安倍朝臣泰章卿の妹、

法皇崩御の後、薙髮して知覚院と号す。<sup>(號)</sup>予布丹の

伯母なり。右数本の末廣を予に譲る。予が女、世野敏子

に授く。敏子数本を持して、若林の家に嫁し、後世に散乱せん

事を憂ひて、<sup>こたび(屏)</sup>今度瓶風こたびの面に押す。裏地の源氏の古歌は

止々軒先寥の染筆也。先寥といへるは八条中納言隆英卿の

男にして陰者也。右扇面の有増あらましを書付よと乞にまかせて、<sup>のみ</sup>茲に記而已。

文化元甲子年春三月

正宇軒安倍布丹